

科目名	作業療法治療学演習Ⅲ						授業の種類	演習	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	2年	前期	
【授業の目的・ねらい】 臨床実習に必要な知識と技術を学ぶ											
【実務者経験】 作業療法士として兵庫県立のじぎく療育センター、兵庫県立光風病院(現ひょうごこころの医療センター)に勤務、小児領域・精神科領域のリハビリテーションに従事経験。											
【授業全体の内容の概要】 身体障害領域における作業療法を実践する											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 評価実習に向けて各評価を模擬患者を通じて実践できる											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	オリエンテーション、OSCEの準備										
2	OSCE 1 A (練習)										
3	OSCE 1 B (実施)										
4	OSCE 1 B (実施)										
5	OSCE 1 C (フィードバック)										
6	OSCE 2 A (練習)										
7	OSCE 2 B (実施)										
8	OSCE 2 B (実施)										
9	OSCE 2 C (フィードバック)										
10	OSCE 3 A (練習)										
11	OSCE 3 B (実施)										
12	OSCE 3 B (実施)										
13	OSCE 3 C (フィードバック)										
14	OSCE 1 から 3 の振り返り										
15	OSCE 1 から 3 の振り返り										
	定期試験										
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学専門分野作業療法評価学第三版（医学書院） PTOTのための臨床技能とOSCE（金原出版）											
【準備学習・時間外学習】 事前に準備する時間は設けていますが、その時間は練習する時間に使用するため、それまでに筆記試験に合格しておくことはもちろんですが、OSCEの教科書を熟読し、内容がわからないということにならないよう十分事前準備する時間を各自行っておくこと。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は実技試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。											